

平成30年度指定管理運営業務評価票

施設名称：大阪府立臨海スポーツセンター		指定管理者：ミズノ・南海グループ（代表ミズノ）	指定期間：平成28年～32年（5年間）	所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課		
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言
			S～C		S～C	
平等利用が確保されるよう適切な管理を行なうための方策	(1)施設の設置目的及び管理運営方針	①施設の設置目的に沿った運営	条例の「府民の保健体育及びスポーツ並びに健全で文化的な集会用」に供し、安全・安心な場・機会・サービスの提供を実施している。弊社他の指定管理施設での事例なども活かし運営を行っている。 (評価点：3点)	A	大阪府立臨海SC条例に記載のある設置目的に従って「府民の保健体育及びスポーツ並びに健全で文化的な集会用」に供している。また、指定管理者であるミズノ・南海ビルサービスが他の施設で得たノウハウを活かして運営を行っている。 (評価点：3点)	A
		②提案した管理運営方針に沿った管理	各種教室（11種目）の運営、卓球・バドミントン大会の開催、スケートリンクの運営・イベントの実施を通じてスポーツの振興・人口拡大、地域の健康増進を実施している (評価点：3点)		各種教室を開催しており、教室の種類が充実したものとなっている。また、イベント（スケートワンコインデー等）も積極的に実施しており、スポーツ振興・地域の健康増進に貢献している。 (評価点：3点)	
		③社会貢献活動、環境活動、法令遵守の取組み	減免対象利用に関する案内と実施（H.P並びに事前打ち合わせ）、ゴミ削減掲示によるごみ箱削減とその協力掲示、コンプライアンスを重視したスタッフ教育研修（6月）、個人情報保護などに努めている。 (評価点：3点)		コンプライアンス教育をスタッフに実施しており、法令遵守への意識が高い。また、ゴミ削減の掲示を実施し、環境保護への意識も高い。 (評価点：3点)	
	(2)平等な利用を図るための具体的手法・効果	①公平なサービス提供、対応状況	スケートワンコインデー、プレオープン無料滑走デー、減免対象利用に関する案内と実施（H.P並びに事前打ち合わせ）、ゴミ削減掲示によるごみ箱削減とその協力掲示、コンプライアンスを重視したスタッフ教育研修（6月）、個人情報保護などに努めている。 (評価点：3点)	A	館内各所に施設の利用にあたっての規則及び注意事項を大きく掲示することで、利用者がいつでも、だれでも快適にご利用いただくためのルールを明確にし、公平性・平等性の確保に努めている。 (評価点：3点)	A
		②高齢者、障がい者等に対する配慮	「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも気軽に」利用できる施設としての人権研修の実施（6月）と施設空き情報発信による利用促進を実施。 (評価点：3点)		車椅子の設置や休憩スペースの確保を行うことで、高齢者や障がい者が利用しやすいように努めている。また、高齢者、障がい者等に対する対応研修を実施しており、スタッフの意識向上及びスキルアップが図られている。 (評価点：3点)	
	(3)利用者の増加を図るための具体的手法・効果	①利用者増を目指したにぎわいづくり方策の取組み	エントランススペースにおける車椅子の設置、高齢者・障害者の方や一般の方が気軽に休憩できる椅子・テーブルの配置によるくつろぎスペースの確保、クリスマス、七夕等季節感のある館内掲示物・トップアスリートポスターの更新と受付（ショップ）での窓口対応。 (評価点：3点)	A	エントランスに設置されているショップの展示物を工夫する（ハロウィン、クリスマス仕様など）ことで、従前より華やかなエントランスになっている。また、日頃から清掃を丁寧に実施しており、館内が明るく感じる。 (評価点：3点)	A
②年間の広告・広報計画等の情報発信の取組み 〔指標〕利用者数 平成29年度実績：205,058人 平成30年度目標：155,000人 9月末現在実績：45,326人		H.Pにおける教室案内をはじめとした施設案内に加えて各大会・行事などの記事、施設空き情報の掲載による情報発信。南海電鉄駅貼りポスターの（主要駅と近隣駅の2段階）実施。11月の近隣教育委員会を通じた小学校へのチラシ配布新聞（泉州版）及び折込チラシ（高石市）配布近隣の羽衣学園（中・高）体育館改修工事に伴う、貸館営業スケート関連昨年比約5.5万人を体育館利用者などで5千人カバー (評価点：3点)	南海電鉄駅へのポスター掲示や、チラシ配布などの宣伝を例年以上に力を入れて行っている。結果、スケート以外の施設に関しては、昨年より多くの利用者を獲得した。（4～9月：スケートリンクは改修工事のため使用不可） (評価点：3点)			

I 提案の履行状況に関する項目	施設の効用を最大限発揮するための方策	(4) サービスの向上を図るための具体的手法・効果	①提案のあったサービス向上策の取組み	早朝・深夜時間帯での開所時間の延長と休日開所への対応を行い、イベント等に関しては利用者要望に柔軟に対応している。 (評価点： 3点)	A	利用者のニーズに合わせて、早朝・深夜時間帯での開所時間延長（主にスケートリンク専用枠貸し）や、年末年始などの休日開所などの対応を行っている。 (評価点： 3点)	A	
			②自主事業の取組み	エリアのプロ組織（大阪エベッサ）との連携による教室開催の昨年度からの継続と各組織イベントの案内を行う また、卓球、バドミントン大会を開催、シニア層を対象とした健康バレエ、アロマストレッチ等を本年度より追加してスポーツの場を提供している スケート教室においては、比較的専用枠の空きのある一般営業時間直前枠を利用した教室を4教室追加する (評価点： 2点)		各種教室が充実しており、運動が得意な人や苦手な人、子どもからお年寄りまで幅広いニーズに応えられる内容となっている。 また、卓球大会やバドミントン大会を開催することで、スポーツの場を積極的に提供することができている。 (評価点： 2点)		
			③施設設備、機能の活用	エントランススペースのテーブル設置などによるくつろぎスペースの確保、開設の旧食堂を利用したトレーニングルームの確保、空きスペースでの卓球台設置（有料）、厨房室の改装などで活用をはかっている。 (評価点： 3点)		空きスペースに卓球台を設置することで遊休場所を有効活用することができている。 また、旧厨房室をスケートリンク監視室に模様替えすることで、より円滑な運営に努めている。 (評価点： 3点)		
		(5) 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	①施設設備の効果的な維持管理	ライフサイクルコスト低減に向けた施設点検表、修繕箇所をランク付けした資料に基づき修繕並びに点検を実施している。 事務所・一部廊下部分など小規模ではあるが順次修繕箇所からのLED化を実施している。 本年度は修繕箇所としてはスケートリンク改修時における入り口付近、再稼働時における冷凍機修繕・点検などを中心に実施・計画している。 (評価点： 2点)	A	緊急度に応じて修繕箇所に優先順位を付けた一覧表を作成し、順番に修繕を実施おり、良好な取り組みである。 (評価点： 3点)	A	
			②施設設備の安全管理	点検チェックシートによる専門スタッフを配置し速やかな設備状況の点検と安全確認を行っている スケート休業時には、夜間の機械警備を実施。 (評価点： 3点)		点検チェックシートを作成し、日頃からチェック体制を整備し、安全管理に向けた従事者の意識向上を図っている。 (評価点： 3点)		
			③緊急時の危機管理体制	緊急時体制表は、事務所の見やすい場所に掲示し誰でもすぐに確認できるよう掲示している (評価点： 3点)		緊急管理マニュアルが整備しており、スタッフに教育を実施できている。 また、3月にはスタッフの避難訓練を予定しており、万が一に備えてスタッフのスキルアップを図っている。 (評価点： 3点)		
	(6) 収入確保策の実施	①広告収入等の収入確保策の取組み	ネーミングライツパートナー企業は営業・情報収集を行うも現在のところ参加企業はない (評価点： 2点)	B	広告収入を獲得するのは難しいというのが現状である。 （大きな大会が開催される施設ではないため、メディアへの露出が少ないのが一因と考えている） しかし、テレビ局からの撮影要望には積極的に応えており、継続して露出アップを図ることで広告収入獲得へ繋げていきたい。 (評価点： 2点)	B		
		②提案どおり実施されているか。	イベントにおける広告収入については現在模索しているところである。 各自主事業については、利用者満足度、継続率アップに向けてのキャンペーンを実施している (評価点： 2点)		自主事業の収入アップに向けて様々なキャンペーン（新規入会特典や継続受講特典の付与）を実施している。 広告収入に関しては引き続き努力いただく。 (評価点： 2点)			

その他管理に際して必要な事項	(7)府施策との整合	①府、公益事業協力等の取組み	まいど子どもカードの協賛実施。AEDに関しては新たに1台を追加設置し消防と連携し消防応急手当普及員・赤十字救急スタッフを配置。また府各部局が実施する施策のポスターやパンフレットの配架・掲示に協力している (評価点：3点)	A	府や公益事業の取り組みに協力いただいている。 (消防との連携や府からの依頼によるポスター掲示など) (評価点：3点)	A
		②行政の福祉化の取組み	ハートフルサービスでは、清掃員として知的障がい者を1名受け入れ雇用を継続する予定。 障がい者によるフットサル大会への協力と車椅子サッカー団体との利用に向けた案内と現場確認等を行う (評価点：2点)		行政の福祉化は提案どおり実施されている。 清掃員として障がい者の方の受け入れを行っている。 (評価点：2点)	
		③市民・NPOとの協働の取組み	高石市シーサイドフェスタイベントとの施設連携イベントを開催(チェアダンス教室生徒の出演など) NPO法人臨海スポーツ支援の会開催のスケートエキビジョン大会への協力・協賛を実施 高石市水道局への協力として「マンホールカード」の配布施設として登録し多くの方に来館頂いている (評価点：2点)		昨年度から継続して、府民・NPO法人と協働の取組や施設連携イベントの開催ができています。 (評価点：2点)	
		④環境問題への取組み	環境問題への教育と資料の購読はもちろんのこと、事務用品においてはリサイクルを心掛け、水光熱費削減に向けて昨年との実績差の情報共有、館内には節電・節水に関する掲示を行うとともに、ゴミ箱を半減し利用者協力への掲示を実施 施設内不要物の廃棄申請並びに5S活動を実施 (評価点：3点)		リサイクルや節電節水を心掛け、高い意識を持って環境問題に取り組んでいる。 (評価点：3点)	
I 総括		7項目(28点満点)		A	7項目(28点満点)	A

評価項目	評価基準(内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言
			S~C		S~C	
IIさらなるサービスの向上に関する事項	(1)利用者満足度調査等	①利用者満足度調査等の実施状況	B	ネットを利用したアンケート(ポスターに掲示されたQRコードを読み取り)を導入し、幅広く意見を聴取することができている。 (評価点：2点)	B	利用者満足度調査の回答数が少ないので、大阪府と協力してアンケートの取り方を工夫するなど、利用者のニーズを的確に把握できるよう、回答数の確保を図ること。
		②調査結果のフィードバック(PDCA)		調査結果を踏まえ、着実に改善を実施できている。 古い施設ではあるが、清潔感や明るさを保てるように日々の清掃や館内展示の工夫を行っている。 (評価点：2点)		
	(2)自主事業	①さらなるサービス向上の取組み 〔指標1〕自主事業参加者数 〔指標2〕自主事業収入状況 H29実績：35,604人、上半期実績：12,133人 H30目標：21,000人、上半期実績：8,233人 H29実績：53,899千円、上半期実績：24,856千円 H30目標：48,000千円、上半期実績：18,878千円	トレーニングルーム、テニス教室利用者への夏季キャンペーン、教室利用者への駐車場割引サービスの実施。 スケート利用者へのワンコインデー実施(1回)などを通じての施設特色を打ち出し スケートリンク改修工事に伴い、一旦リセットされたスケート教室会員への直接アプローチや各種特典を付与した改革による会員数増による増収を目指す。 (評価点：2点)	B	お得に施設を利用できるキャンペーンを展開し、トレーニングルームなどの利用者を増やすことができた。 今後は高齢者向けの教室を充実させていく。 その他にもアンケートなどを活用して潜在的ニーズを掘り起こし、更なるサービス向上を図っていく。 (評価点：2点)	B
(3)その他創意工夫	①その他創意工夫の取組み	老朽化による施設ではあるが、新設看板・掲示物の張替などによる新しさを創出、各プログラム内容については、季節感のあるキャンペーンや空き枠を利用したスケート教室の増枠を実施する (評価点：3点)	A	掲示物・展示物の季節に応じた更新や休憩スペースの設置などお客様目線でのサービスを実施できている。 (評価点：3点)	A	
II 総括		3項目(12点満点)		B	3項目(12点満点)	B

Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する事項	(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	①事業収支計画、事業収支実績状況 〔指標〕 H29収支計算書（プロポーザル） 収入：207,727千円、見込み：158,891千円 支出：210,100千円、見込み：173,281千円 納付金：13,000千円、見込み：0千円	①事業収支及び見込み 《平成30年度：対プロポーザル比》 収入：105% 支出：101% 納付金：100% (評価点：2点)	B	収入については提案時より下回る見込みである。利用者を増やす取組を早急に実施する必要がある。 (評価点：2点)	B
	(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	①職員体制・配置	①提案した内容のとおり適切な職員体制・配置を実施している (評価点：3点)	A	「管理体制計画書」のとおり職員配置を行い、十分な管理運営可能な職員体制となっている。 (評価点：3点)	A
		②管理監督体制・責任体制	②これまでの指定管理者としての実績や他施設での豊富な経験及びノウハウを生かし、作成した運営管理マニュアルに則り管理監督及び責任者体制を構築し運営している (評価点：3点)		各グループ員はそれぞれ本社との連携体制を整えていると共にグループ員同士の定期連絡会を開催し、情報の共有を行っている。また、館長を筆頭に指揮命令系統が明確になっており、良好な管理体制を構築している。 (評価点：3点)	
		③指導育成、研修体制	月1回の各施設担当者による全体の定例会を実施し運営についての課題・改善などについて討議を行っている。ミズノグループスタッフについては、朝礼による課題・引継ぎ事項等の確認、本社教育資料の配布、全体研修、リーダー研修等を通じて接客・接遇のレベルアップによる運営向上をはかっている。 (評価点：3点)		ミズノ及び南海ビルサービス共に、それぞれ従事者への多様に渡る研修を実施しており、資質向上に努めている。 (評価点：3点)	
	(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	①法人等事業者の経営規模、事業規模、組織規模等の運営基盤	①ミズノグループ・南海ビルサービスグループともに経営・事業・組織規模等の運営基盤は良好 (評価点：3点)	A	各グループ共に運営基盤は安定している。 (評価点：3点)	A
②法人等事業者の財務状況		②H29年度代表企業ミズノ(株)実績 売上高1,854億円 営業利益80億円 経常利益81億円 純利益49億円 ROA5.3% ROE5.4% 自己資本比率58.5% (評価点：3点)	左記のとおり健全な財務状況である。 (評価点：3点)			
Ⅲ 総括		3項目(12点満点)		A	3項目(12点満点)	A